

若手職員 座談会 (R5年 Vol.1)

採用2年目から5年目までの厚生労働事務官（基準）、（安定）による座談会を開催いたしました。

Q1 なぜ皆さんは、数ある官公庁から兵庫労働局を選ばれたのですか？

伊東：私自身が兵庫県出身であったこともあるんですが、「労働」は人生の中でも大きなウエイトを占めるものだと思っていて、その「労働」に関して困っている人をサポートしたいという思いから兵庫労働局を志望しました。

真田：「仕事」というのは誰しも生きていくために必要なことだと思うので、その「仕事」に関して安心して働いてもらったり、働いていてケガをしてしまった人たちを救ってあげられるところに魅力を感じて労働局に決めました。

児島：私は就職活動をしていたときに新卒応援ハローワークを利用して、その際によく対応してもらったことがきっかけで労働局の業務に興味を持ちました。

久後：私は大学のゼミが労働関係のゼミであったこともあり、仕事でも労働関係に携わりたいと思ったことがきっかけです。私は、ずっとデスクワークをするよりも人と接することができる窓口業務がやりたいという思いもあったので、就職先を考えたときにハローワークの窓口業務に惹かれて労働局を志望しました。

井上：私は皆さんと少し異なりますが、職員の方々の雰囲気決めました。就職活動の時期、いろんな官庁をみましたが、兵庫労働局の人事の方や説明会などに参加していた若手職員の方がみなさん感じよく対応してくれたことが決め手でした。



守安：私が公務員試験を受ける年に新型コロナウイルス感染症が流行し、友人の中にも内定取消になったり、面接日程が後ろ倒しになったりと、就職活動が思うように進んでいないことを目の当たりにし、こんなご時世だからこそ働くことを支援できればいいなと思い労働局を志望しました。



高澤：私は当初、地方公務員志望でしたが、いろいろな官庁を訪問する中で、唯一やってみたく思ったのが労働局の業務でした。労働局の業務は地方公務員と比較して、「労働」に関する業務というところで一本筋が通っており、そのような仕事の方が自分には力を入れやすいと思い、決めました。

西端：私は野球をしているのですが、ケガのせいで1年以上、野球ができなかった期間もあり、つらい思いをしたこともありました。そういった経験から

同じようにつらい思いをしている方々を助けることができるような仕事ができればいいなと思い、労働局の仕事を選択しました。兵庫以外の労働局も見ましたが、兵庫労働局が一番採用活動に力を入れていて、質問もたくさんすることができ、職場の明るい雰囲気なども感じられたので兵庫労働局を選択しました。

Q2 安定・基準を選択した決め手はなんですか？

伊東：安定系は窓口が多い一方で、基準系はデスクワークが多い印象があり、自分には窓口対応より、デスクワークが向いているなと思い、基準系にしました。

真田：基準系の仕事がイメージしづらかったこともあり、私は当初、安定系を志望していました。業務説明会などに参加し、基準系の業務を知っていく中で、自分には基準系の方が向いているんじゃないかと考えるようになり、最終的に基準系を選択しました。

児島：伊東さんと似ているんですが、私も窓口対応よりも調査を地道に進めていく事務的な業務の方が自分には向いていると

思って基準系を志望しました。
久後：私は就職先として、窓口業務をやつつ、少し事務作業もあるような仕事をイメージしていたので、安定系一択でした。安定系は窓口業務が多く、人と接する機会が多いので、直接、人の役に立っているなということを実感できることも安定系を志望した理由の一つです。

井上：私は業務内容的には基準系業務の方がおもしろそうだと感じたのですが、説明会などでお会いした人事の方や若手職員の方の感じがよかったことが決め手で安定系にしました。

守安：私は人と話をすることが好きで、自分には接客が向いているなと思っていたことと、仕事探しの支援をしたかったので職業相談をやってみたくらい、安定系にしました。

高澤：私自身、人と話をすることは得意ではないのですが、人の話を聞いたり、人のために何ができるかを考えることは好きだったので、安定系を選択しました。

西端：労働局を知ったきっかけは安定系でしたが、自身がケガをした経験からそういったつらい状況にある人を救済したいと思い、基準系を選びました。あとは、自身のケガの経験も面接で話しやすいかなと思って。

一同：(笑)

Q3 兵庫労働局で働いていて一番良かったことは何ですか？

伊東：いろんな知識がつくことですね。監督署にたまに医師が来るのがあって、はじめて知るようなこともたくさんあり、自分が知らなかったことを学べる機会があることはよかったなと感じています。

眞田：有給休暇が取りやすいところです。基準系の業務は基本的に自分の担当の仕事を進めていくので、休みを取りやすいん

です。たまに、今日は疲れたなと思って、昼から休暇を取得することもあります。



児島：人がいい人が多いところなんです。2、3年ごとに異動があるので、いろんな人と関わることになります。どこの職場でも仲良くなれる人が何人かはいます。また、普段接する機会が少ない人でもコミュニケーションを取りやすい人が多いところも魅力の一つかなと思います。

久後：私が担当している窓口は通院しながら、お仕事を探している人を専門に支援する窓口なのですが、来所される方々と相談を繰り返しながら、お仕事が決まった際は、自分のことのようにうれしく、よかったと心から思います。

井上：皆さんがお話されていたことも確かにそうだなと思いつつながら聞かせてもらいましたが、個人的には日々、業務で学んだことが次の業務に生きてくる環境で働けていることですね。

守安：入庁前は、異動したらまた1から新しい業務を覚えなさいといけないうもだと思つていたんですが、実際働いてみると、前の部署で学んだ知識や経験が生きていることも多々あって、自分の経験を活かせるころはよかったなと思つています。また、窓口に来られる方から学ぶことなどもあって、日々少しずつ知識も増えていっているので、成長する機会がたくさんあって素敵だなと思つています。

高澤：私は違う視点からお話ししようと思つています。

兵庫労働局がある兵庫県は海も山も温泉などもあって、遊べる幅が広いところが素敵だなと思つています。今年はハローワーク豊岡の職員から城崎温泉の巡り方

を教わつたので、城崎温泉に行こうと思つています(笑)

西端：職場環境の良さです。誰に質問をしても嫌な顔をせず答えてくれますし、それこそ、今日来られている児島さんも私が1年目のときに同じ職場だったんですけど、やさしく教えてくれました(笑) 誰に質問しても教えてくれる環境なので、のびのび仕事ができます。



Q4 仕事をしていて一番成長した！と感じる点があれば教えてください。

伊東：最初は何も分からず、上司に話を聞きながら仕事を進めていたんですが、最近は自分一人でも案件を処理できるようになってきて、成長したなと感じました。

眞田：事務処理にかかる時間が早くなったことです。請求を受け付けたときに、この場合は何をしないといけないうかというのが、自分で判断できるようになってきました。

児島：今までは小さなものでも失敗をしてしまうと、ずっとそのことを考えてしまつていたんですが、今は切り替えて、業務に取り組めるようになったことは精神的に成長したなと感じています。

久後：私は入庁して間もなくは、電話対応が苦手でした。対面だと資料などを活用しながら、うまく説明できることも電話だとうまく伝わらないこともあり、最初は難しく感じていたんですが、回数を重ねていくにつれて、順序立てて話せるようになり、電話でもうまく説明できるようになったときは成長したなと感じました。

井上：私は当初、雇用保険給付

課の窓口を担当していて、早く処理しないといけないという思いから、急いで処理をしていると利用者の方から対応が冷たいと言われたことがありました。その時はかなり悩んでいたのですが、徐々にハローワークは悩んでいる方が来る場所なんだと意識するようになってからは丁寧な対応を心がけることができるようになり、気づけば感謝の言葉をいただく機会が増えたことは成長を感じました。



守安：視野が広がってきたことです。1年目は仕事を覚えることだけで精一杯で自分の窓口を終わらせることだけを考えていたんですが、2年目、3年目になると精神的にも余裕が出てきて、隣で先輩が対応している窓口も気にしながら、何かあったときに手助けに入れるような体制を整えたり、全体をみて忙しいような窓口の手伝いに入ったりすることが自分からできるようになりました。

高澤：ハローワークの業務はいろんな人と接する機会が多いので、いろんな人の考えや価値観を受け入れることができるようになったことは成長したなと感じます。

西端：質問することから相談できるようになったことです。入庁直後は分からないことは質問ばかりしていたんですが、最近は「こういう考え方であっていますか。」など相談することができるようになったので、成長を感じることができました。

Q5 最後に、受験生へのメッセージをお願いします。



伊東：これからの時期、説明会や官庁訪問など、いろいろな忙しいと思いますが、体調には気をつけて頑張ってください。

眞田：大事な時期だと思うので、体調管理はしっかりしてもらえたらと思います。また、就職先を考えるにあたっては、いろいろな官庁を実際にみて、後悔がない選択をしてもらえればと思います。そのうえで、兵庫労働局を選んでもらえたら一番うれしく思います。

児島：私は大学生のときも楽しかったんですが、社会人の今の方がより楽しいと思っているので、皆さんも自分に合った仕事を見つけて、楽しい社会人生活が送れるよう就職活動を頑張ってください！

久後：就職活動は大変だと思いますが、自分がどのような仕事をしたいかや、自分の性格などを考える時期は今くらいしかないと思うので、自分がやりたいことなどを十分に考たうえて、最終的に兵庫労働局を選んでもらえたらうれしいなと思います。

井上：今は試験も終わり、大変な時期だとは思いますが、自分を見つめ直す数少ない期間だと思うので、頑張ってもらえたらと思います。

守安：この時期は、周りの友達と比較してしまい、不安や焦りがある方もいると思いますが、

たまには自分を甘やかしつつ、前向きに官庁訪問などに臨んでもらえたらと思います。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

高澤：労働行政は入庁後も自分の可能性を広げることができたり、引き続き自分を高めていくことができるいい職場なので、ぜひお越しください！

西端：今の時期は就職活動をしているときしか聞けない話をたくさん聞くことができる貴重な期間なので、いろいろな説明会に参加していただいて、自分にあったところを選択していただけたらと思います。

兵庫労働局はのびのび仕事をできる職場なので、ぜひ来ていただきたいと思います。

本日の参加者

(基準系の厚生労働事務官)

兵庫労働局総務部総務課：児島

神戸東労働基準監督署：眞田

神戸西労働基準監督署：西端

尼崎労働基準監督署：伊東

(安定系の厚生労働事務官)

神戸公共職業安定所：高澤

姫路公共職業安定所：久後

伊丹公共職業安定所：守安

明石公共職業安定所：井上